

事務事業名 文化振興計画推進事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1412

施策：	21	歴史・文化の継承と振興	財務コード	01090608-12-00
基本事業：	04	文化活動の推進	担当部	教育部
基本事業の成果指標	芸術文化活動を鑑賞又は参加したことがある市民の割合 児童・生徒を対象とした文化鑑賞に関するイベント参加者数		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	文化振興・図書館担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成22年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
文化振興関連施策			1. 文化の振興に関して必要な事項を調査・審議するため審議会を設置する。 2. 審議会は、学識経験者、市内文化団体の代表、市民ら10名で組織され、不定期に開催される。 3. 事業の概要 市民や学校が文化芸術に触れる、学ぶ機会の創出（アウトリーチ） 次世代育成、後継者育成のための団体間連携・交流（プラットフォーム）							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）)							
市における文化振興施策を計画的・総合的に推進する。 基本目標は、 文化を通じたひとづくり 文化を通じたまちづくり 文化を広げるしくみづくり			人形劇のあるまち推進（人形劇まつり） 文化・芸術の回廊づくり							
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標	
文化振興計画事業達成度		%	56	68.75	65	70			80	
5. コスト										
事業費		計	千円	56	6	208	208			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
一般		千円	56	6	208	208				
正職員人工数		人工	0.7	0.7	0.7					
正職員人件費		千円	5,597	5,662	5,646					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	5,653	5,668	5,854	208				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている		30年度に各課の事業進捗状況を調査し、実施計画16事業中11事業の達成が確認できた。								
どちらかといえばあがっている										
あがっていない（停滞・低下）										
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし							
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
次期計画は策定せず、「筑紫野市教育振興基本計画」等、他の計画中に位置づけ経費削減を図る。 計画終了年度：平成31年度をもって事業終了とする										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
平成13年 文化芸術振興基本法が制定 平成17年 福岡県文化振興プラン策定 平成22年2月 筑紫野市文化振興計画策定 平成22年3月 文化振興条例制定 平成26年3月 文化振興実施計画策定										